



しこく
四国財務局公式キャラクター

ニュースリリース

～四国とともに、未来をつむぐ～

四国財務局

令和6年9月12日

第82回 法人企業景気予測調査結果（四国地方の概要） （令和6年7～9月期調査）

企業の景況判断は「下降」超幅が縮小

【景況判断】

全産業の景況判断BSI（7～9月期）については、引き続き原材料価格やエネルギー価格の高騰による影響がみられるものの、受注の増加や価格転嫁の進展などから、▲0.8%ポイント（前回の▲5.1%ポイントから4.3%ポイント上昇）となり、「下降」超幅が縮小。

先行き（翌期）については、原材料価格やエネルギー価格の高騰を懸念する声があるものの、需要の回復や価格転嫁の進展などを見通し、「上昇」超に転じる。

製造業：前回▲8.8%ポイント ⇒ 今回 ▲7.4%ポイント（1.4%ポイント上昇、下降超幅が縮小）

「電気機械」：円安による海外向け受注の増加などから上昇超幅が拡大

「その他の輸送用機械」：円安による売上増加などから上昇超に転じる

「食料品」：原材料価格や光熱費等の高騰、値上げによる需要の減少などから下降超となる

非製造業：前回▲2.8%ポイント ⇒ 今回 3.3%ポイント（6.1%ポイント上昇、上昇超に転じる）

「建設」：受注の増加などから上昇超に転じる

「小売」：価格転嫁の進展などから上昇超となる

「宿泊、飲食サービス」：仕入価格上昇や地震の影響による需要の減少などから上昇下降同数

【従業員数判断】

全産業の従業員数判断BSI（7～9月期）については、「パルプ・紙」や「金融、保険」など多くの業種で引き続き人手不足感があることから、35.6%ポイント（前回の36.6%ポイントから1.0%ポイント下降）となり、「不足気味」超となっている。

先行き（翌期）については、現在行っている採用活動により人員確保のめどが立っているという声もあり、「不足気味」超幅が縮小する見通し。

【問い合わせ先】

四国財務局 財務広報相談室
四国財務局 経済調査課

TEL087-811-7780（内線 260）

TEL087-811-7780（内線 250）

